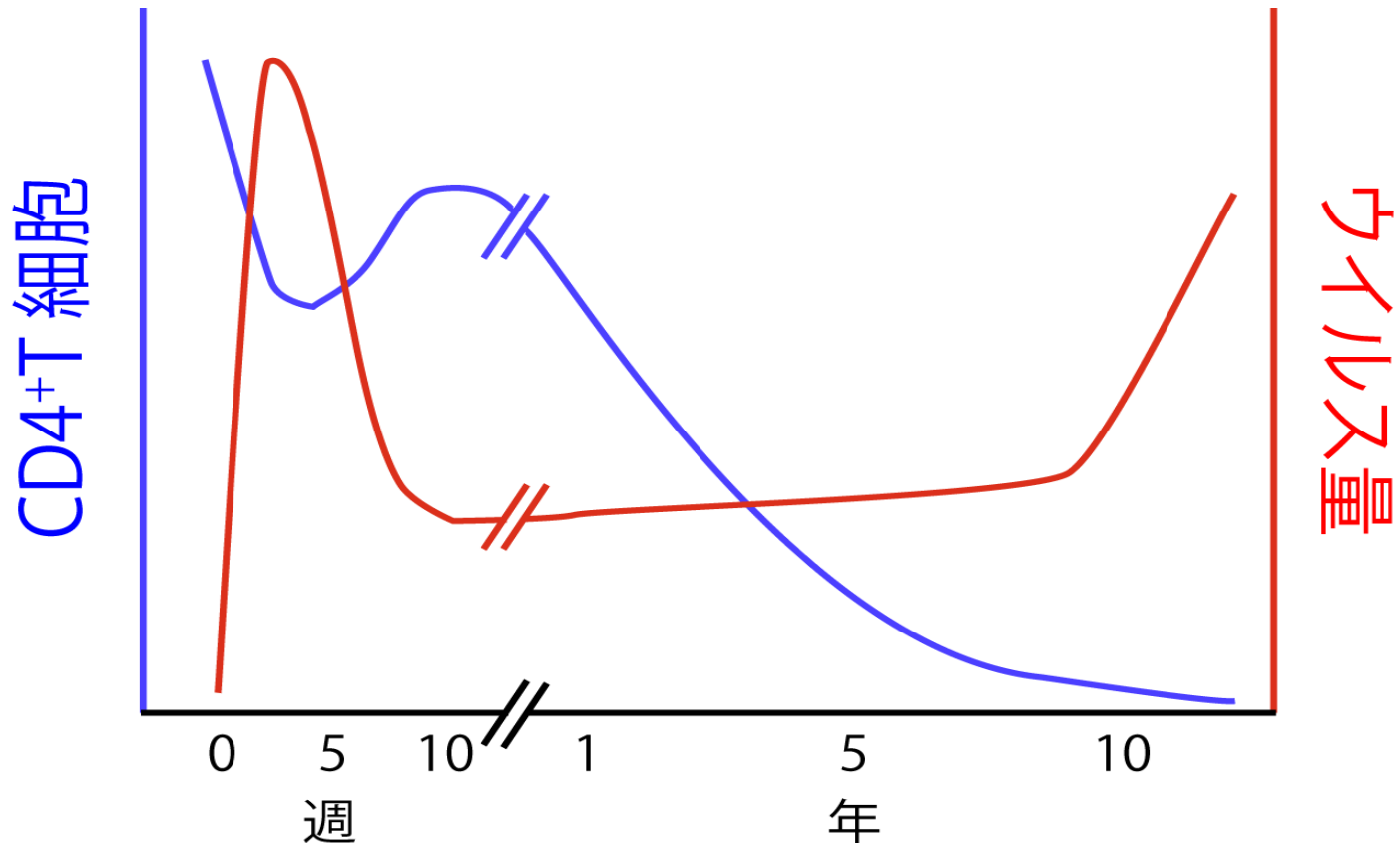


**エイズ発症に重要な進行性のCD4陽性T細胞減少は
ナイーブ細胞の減少と自己抗体の誘導を伴う**

熊本大学 大学院先導機構

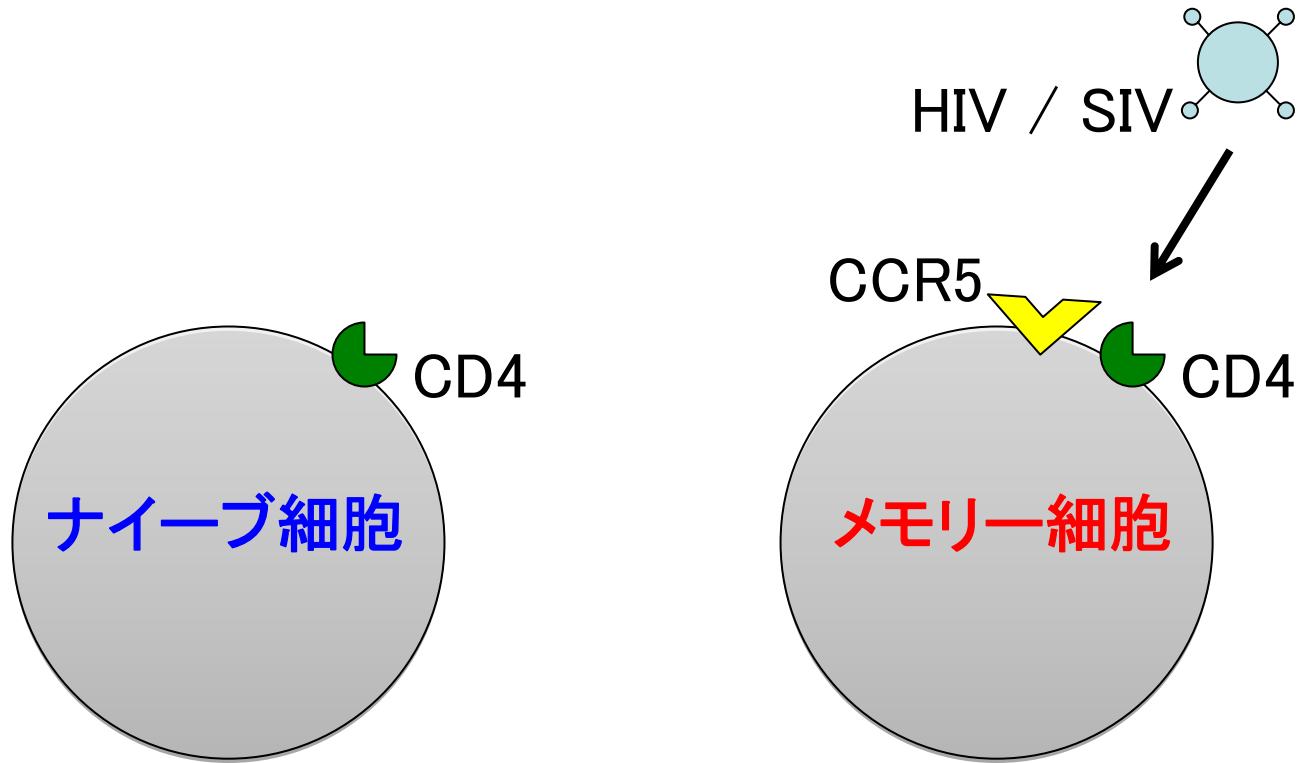
桑田 岳夫

HIV感染とAIDS発症



慢性感染期における進行性のCD4⁺ T細胞の減少が、病状進行の特徴であり、このメカニズムの解明がAIDS発症機構を理解するために必要である。

CD4⁺ T細胞



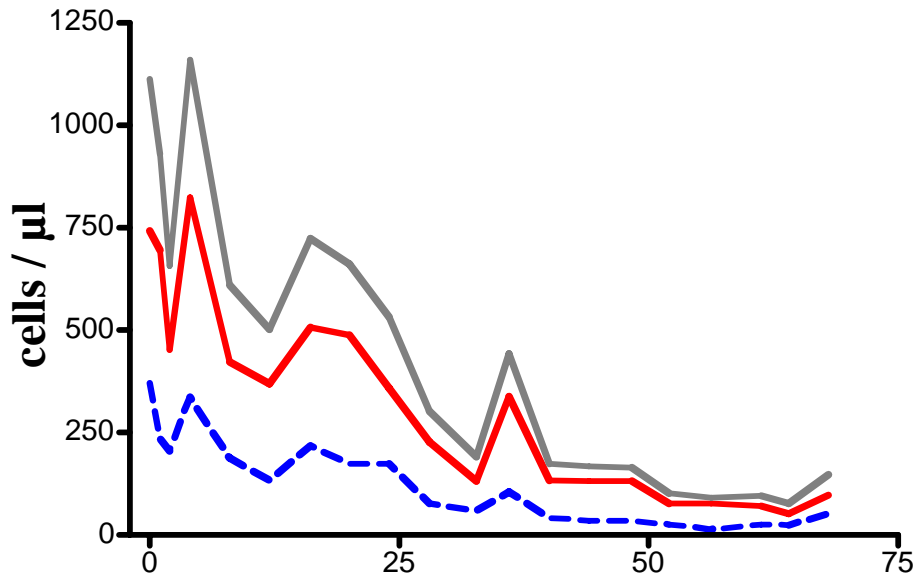
抗原刺激されていない

特定の抗原を記憶

SIV感染ではCD4⁺ T細胞減少には 2つの型がある

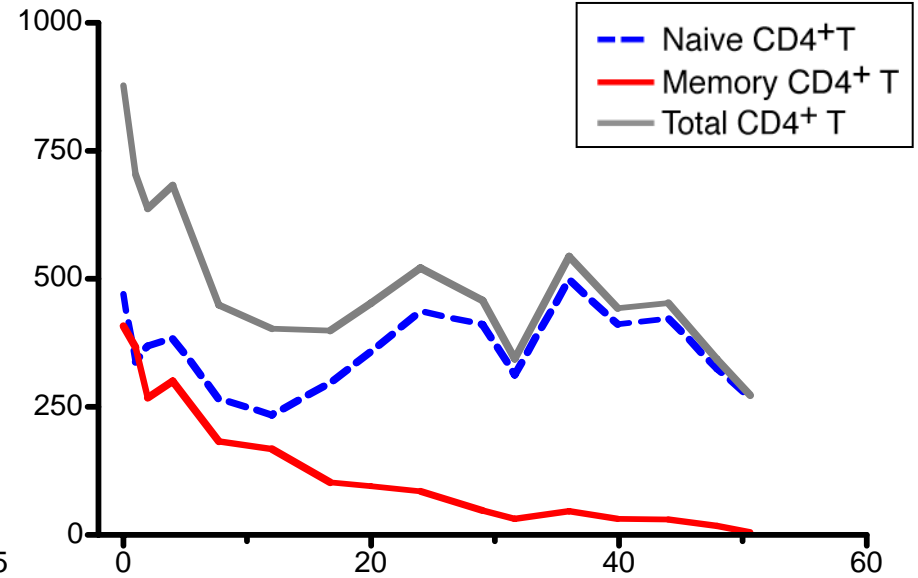
ナイーブとメモリーの減少
(ND)

H723



メモリーの減少
(MD)

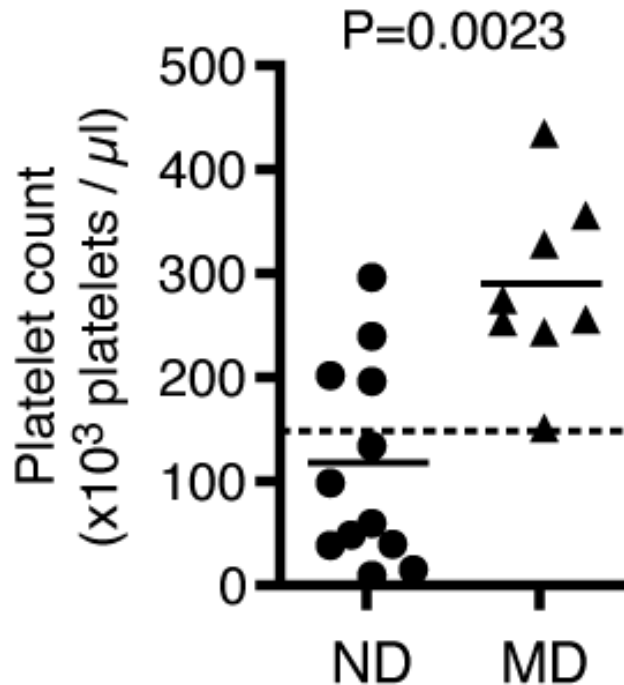
H718



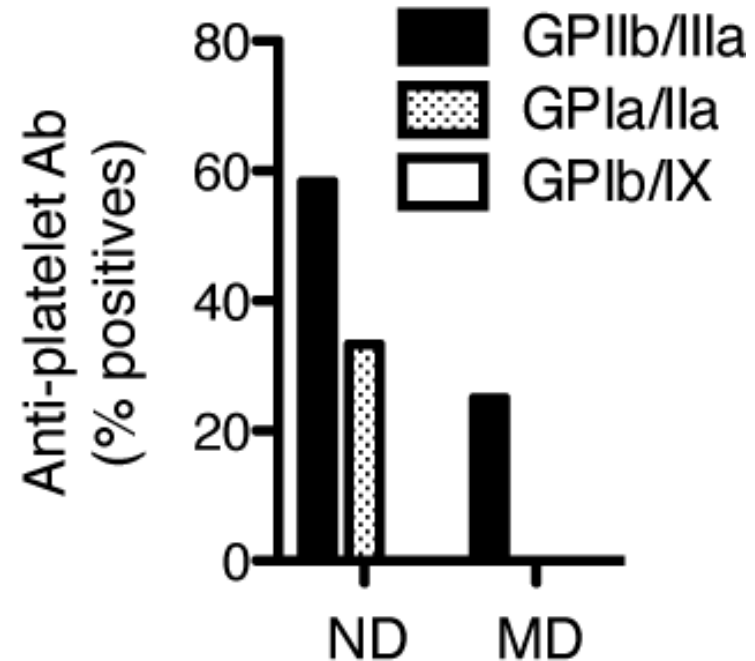
wpi

NDグループは血小板数が減少し、血小板に対する自己抗体が誘導されている

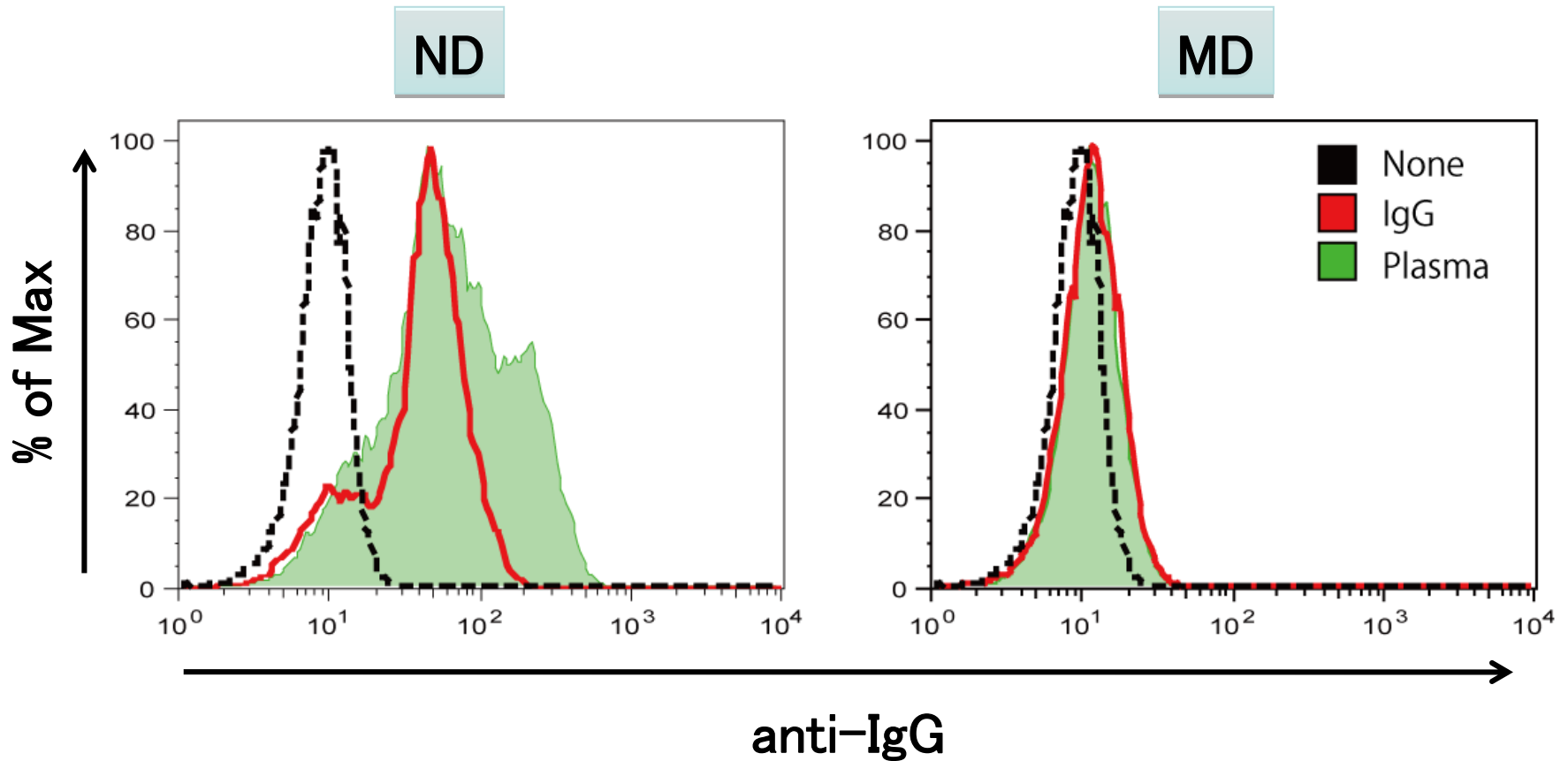
血小板数



血小板に対する抗体

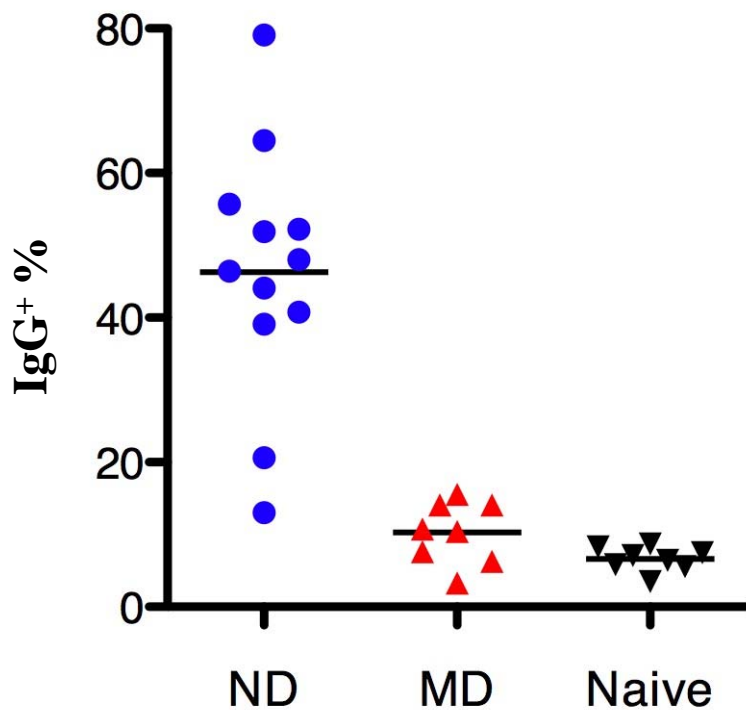


NDグループはCD4⁺ T細胞への自己抗体が誘導されている

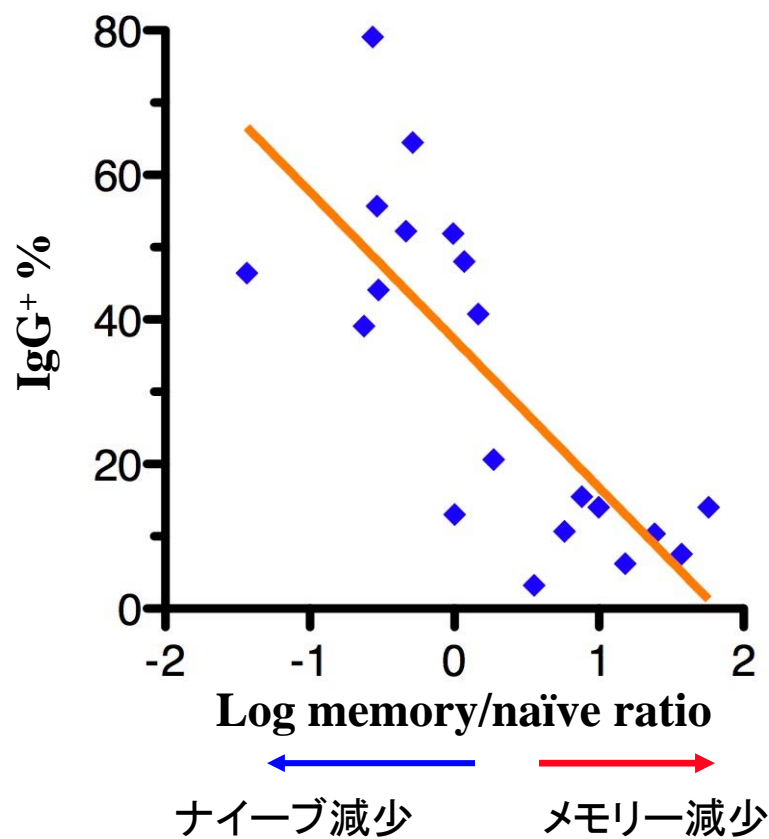


CD4⁺ T細胞への自己抗体上昇はナイーブ CD4⁺ T細胞の減少と相関する

抗CD4⁺ T細胞抗体



ナイーブ細胞減少との相関



進行性CD4⁺ T細胞減少と自己抗体

- ・ 自己抗体の進行性CD4⁺ T細胞減少における役割
- ・ 自己抗体の誘導機構
- ・ AIDS発症機構